広島県内の有力経営者に聞く
モノづくり再生 次の一手

08年9月の〝リーマン・ショック〟後の不況からようやく脱しつつあった3月、かつて世界が経験したことのない大規模災害が発生した。東日本大震災は、自動車産業などのサプライチェーンを寸断し、日本の製造業に新たな試練を与えた。しかし官民挙げての復興に向けて力強い動きも始まっている。中国経済連合会の会長に就任した山下隆氏（中国電力会長）が言うように「震災復興と国の再生は西日本から」推進せねばならない。では広島県内企業のトップは何を考え、次の一歩を踏み出そうとしているのかを紹介する。

鋳物素材 高度化に挑戦

友鉄工業　友廣 和照 社長

当社は自動車用プレス金型鋳物素材を中心に鋳造を行っているが、近年金型の現地生産、現地調達が進み最近の円高とともに海外シフトが加速され、世界規模のコスト競争となっている。その中で国内生産するプレス金型のコストダウン提案を新材質「TOSシリーズ」、「TFGシリーズ」で、またダイカストホルダーの専用材質「THB−D」で行い、実績を積んできている。とくにFM鋳造法と呼ばれる、消失模型鋳造法を手がける企業は国内でも非常に少なく、各方面から注目されている。

今後も鋳物の素材開発をはじめ硬化溶接、レーザー焼入による硬度アップや低温PVD処理による表面改質などの技術研究も進め、鋳物の付加価値向上に取り組み、金型鋳物素材の高度化に挑戦したいと考えている。

広島県の地場産業の一つである鉄鋳物の製造を始めて50年が過ぎた。今では金型素材以外にも工作機械・産業機械用の鋳物や、広島県内を中心とする下水道用のマンホール鉄蓋などの製造も行い、身近なものから世界市場まで、広範囲でのモノづくりに貢献している。これからも日本人ならではの、きめ細かいモノづくりと信頼性で日本のモノづくりを支えていきたいと思っている。

（広島市安佐北区、082・837・0490）

ボリュームゾーン狙う

三菱重工印刷紙工機械　清水 雅巳 社長

わが社は商業印刷機、新聞輪転機、紙工機械の3製品を手がけている。それぞれリーマン・ショック以降の落ち込みからやっと規模感が出てきた。ただ商業用印刷機の需要は4割程度減り、これがすべて戻ることはない。どういう商品を市場に持って行くかが今後の競争を生き抜くカギになる。

ニーズは高性能・高機能の〝ハイスペック型〟と機能を絞り込んだ〝基本機能充実型〟に二極化している。わが社の印刷機は総じてハイスペックだったが、高性能を堅持し、基本機能を求めるボリュームゾーン向けの機械を作る必要がある。

一方で既存製品から機能をそぎ落とすには高度な技能がいる。基本を共通化したベースに肉付けする造りでなければ、プロセスは煩雑になる。今年度、研究開発費をつけて新たな企画・設計に着手した。来年度下期ぐらいには欧州向けから製品を出していけるだろう。

7月に社長に就任し、人材育成にも力を入れたいと思っている。私自身、若いころから多くを教わり、残ったモノが私の価値になっている。「何をやったか」を自問するようになれば仕事もおもしろくなる。今のところ人材育成は三菱重工のプログラムに沿っているが、独自の計画も進めていきたい。

（広島県三原市、0848・67・2068）

高品質維持し信頼守る

カネヒロデンシ　兼森 雅浩 社長

当社は2007年に、いち早く直管型のLED蛍光灯を開発・販売を開始し、それ以来4年以上も業界の先頭を走り続けてきた。創業時から手がけていた空調設備のスイッチに代わり、今では当社の主力商品として成長している。

当社のLED照明は従来の蛍光灯と比べ消費電力が約3分の1と低く、寿命も約4万時間と5倍も長いのが特徴である。もちろんCO_2削減にも貢献できる。しかもパナソニックセミコンダクター社製のLEDを搭載し、金額ベースで75％以上の部品を日本製として組み立てても国内で行うなど、「メード・イン・ジャパン」にこだわり続けている。

この思想は開発以来不変で、こんな姿勢が評価され、この6月には販売実績が累計10万本を超えた。最近では一つの案件あたりの本数が増えており、次の目標である50万本に向けて弾みがつくと期待している。

当社が販売開始してから、直管型のLED照明メーカーは急増した。今では200社が参入しているともいわれる。それだけ競争は厳しくなっているが、顧客の信頼を得るために、また高品質を維持するためにも可能な限り国内生産は守りたいと思っている。

（広島市安佐南区、082・830・2306）

海外進出の方向性探る

福山鋳造　小林 敏彦 社長

1年前から工作機械などに携わる鋳造業は忙しくなった。わが社はユーザー層の違いで遅れたが、工作機械の需要増に伴ってロボット関連部品の仕事が増えている。建設機械や輸送機械向けなども増加傾向だ。ただ景気は円高がどうなるかという課題があり、現状は様子見と考えている。

昨年、わが社は海外工場の建設を検討した。しかしリーマン・ショック以来の状況が改善せず、中止した。企業が海外に出るのは戦争と同じ。軌道に乗るまでの資金力がなければ、成功する事案もうまくいかない。リーマンの後遺症がある中でカードを切るべきではないと考えた。現在は収益性を取り戻すことが第一目標だ。稼働率を上げて固定費を減らし、売上高が下がっても黒字を確保できる体制を作る。ここまで人員削減、コスト抑制に取り組んできたが、今期は古い設備を更新するため1億6000万円を投じる。今後、世代交代が起こるので機械を新しくしておきたいし、社員も明るくなるだろう。

設備導入は1月に終わる。日本経済の行方も年末には見えてくるはずだ。うまくいけば飛躍できる。これを見極め、わが社も4月ごろには海外の方向性を再検討し、生き残る手段を考えたい。

（岡山県笠岡市、0865・67・1221）

顧客への意見・提案大事

アイエム　島田 利晃 社長

わが社はスポット溶接機のチップドレッサーや電動シリンダーの開発などが主力。これまで「独自の新技術の開発」を掲げ小型化、省エネのニーズにこたえてきた。顧客に対しても堂々と意見や提案をすることを大切にしてきた。何もないところから始まるのが開発。無理が出てくるのは当たり前。相手側の要求も高くなっていくし、失敗もある。さまざまな考えを見極め、決して言いなりにならず開発者としての考えを伝えるのが使命だと思っている。

しかし、なかなかプロセス重視というわけにはいかない。どうしても結果を求められる。コストや効率でしか評価されにくく、物事の本質を見る目と考える力が失われていると感じている。例えばインターネットでの直接取引が増え、商社の役割は減少傾向。インターネット取引は確かに合理的だが、顧客との距離が遠い。特に初めての顧客からの声が聞こえにくくなっている。間接的役割が不必要とは一概に言えないということだ。

これからの日本は原点に立ち返ることが不可欠。実績やコストだけでではなく、中身もきちんと評価されるべきだ。そうならなければデフレからもなかなか脱却できないのでは、と考えている。

（広島市安佐南区、082・830・6166）

まず国内営業を〝変革〟

河原　河原 栄護 社長

リーマン・ショック後の落ち込みは徐々に回復してきたと感じている。工作機械部門は建設機械向けなどが忙しく、フル生産にある。だが現在の円高の中では日本で作って輸出するのは難しい。先行きも円高の懸念は払拭できず、対応が必要だ。

海外で競合する韓国メーカーなどの製品価格は、市場によっては半分程度。1割、2割の差なら企業努力でカバーできるが、現状は困難で海外調達も考えなければならない。すでにどういった部品が調達できるか、中国や韓国で市場調査を始めた。

一方、市場の変化が早くなっており、営業には柔軟な体制が求められている。そこで6月の社長就任から社内の意識改革を進めている。従来、事業部ごとに開いていた営業会議を見直し、地域や部を問わず、一つの会議に社員を集めて情報の共有を図っている。所属する事業部の製品だけでなく、社内のすべての製品を複合的に提案できるようにするのが狙いだ。

国内営業を変化させ、将来は人員を海外に広げる。東南アジアを中心に営業拠点を整備し、海外戦略を加速していくつもりだ。11年度下期は意識改革を徹底し、12年度から国内市場の掘り起こしなどに力を入れて成果を出していきたい。

（広島県尾道市、0848・48・2536）

企業トップが語る　広島県産業特集

人と環境にやさしい企業をめざす
安全で快適に暮らせる街を創造するため、
これからも、環境対策やバリアフリー化を推進します。
Hiroden Heart
広島電鉄株式会社　〒730-8610 広島市中区東千田町二丁目9-29
<電車テレホンセンター> 082-242-0022　<バステレホンセンター> 082-221-0050
http://www.hiroden.co.jp/

ニュージーランドで、持続可能な森林経営を行っています。
植林　伐採　育林　間伐　30年サイクル
30年輪伐システムにより
豊かな環境を守りながら森を活用しています。
30年サイクルでニュージーパイン®を計画的に管理することで、木材を有効活用するとともに、環境保全にも役立っています。木材資源の安定供給を図りながら、万全な管理体制のもと、良質なニュージーパイン®をニュージーランドからお届けしています。
WOODONE 株式会社ウッドワン
〒738-8502 広島県廿日市市木材港南1-1 TEL 0829-32-3331(代) http://www.woodone.co.jp
ウッドワン 検索

時代の先端を行く優れた技術を自動車メーターへ集約
NSウエスト株式会社
計器類総合メーカー
マツダ車などの自動車用メーターを開発・生産
庄原本社工場 〒727-0004 広島県庄原市新庄町366-2 TEL:0824-72-2033 FAX:0824-75-0020
広島本社開発センター 〒732-0802 広島市南区大州4丁目9-15 TEL:082-287-2050 FAX:082-287-2077

自然環境や、資源を大切にする仕事を通じて、社会に貢献します
●環境装置　●金型他表面処理
●省エネルギー　●耐火材販売他
●工業炉
株式会社 三建アクセス SANKEN ACCESS CO.,LTD.
〒730-0053 広島市中区東千田町1-1-72
TEL(082)249-1139 FAX(082)248-2809
IP-PHONE 050-3531-1139
URL http://www.sanken-access.co.jp
E-mail:info@sanken-access.co.jp

卓上型サーボプレス機　未来をクリエイトする CGK
MINI-POWシリーズ
●手動パルサー付　●簡単操作
●見やすいカラー液晶　●トルク制限機能付
●工程動作以外に3種類の加工モーションが選択できる
●各モーションのプレス位置及び速度を任意にデジタル入力
●低騒音、低振動と人・環境に優しい商品

型名	HMS-7000	MS-3000	HMS-1000
最大荷重(kN)	70	30	10
ストローク長さ(mm)	max40	max25	max100
ストローク数(spm)	max80	max80	
スライド調整(mm)	40	15	
オープンハイト(mm)	自由設計	170	自由設計
ダイハイト(mm)	自由設計	145	自由設計
シャンク穴	φ25.4×37L	φ25.4×35L	φ25.4×40L
運動モード	・一工程　・安全一工程　・ソフトモーション ・プログラムモーション　・コイニングモーション		
電源	三相　AC200V	三相　AC200V	三相　AC200V
モーター出力(ACサーボモーター)	3KW	0.75KW	0.4KW
停止設定時間(s)			0～99.9
加圧停止設定時間(mm／ss)			8

MS-3000　New HMS-7000　New HMS-1000
CGK シージーケー株式会社
営業サービス窓口／〒738-0512 広島市佐伯区湯来町白砂95-7
TEL0829-86-2061 FAX0829-86-2062
大阪／TEL06-6536-3923 FAX06-6536-5735
http://www.cgk-corp.co.jp
ISO 14001 UKAS Reg.No.059-C

第10回 学生によるビジネスアイデア提案コンテスト
キャンパスベンチャーグランプリ中国
応募期間 9月1日(木)～10月31日(月)
●応募資格
大学(大学院)、高等専門学校、短期大学、専門学校に在籍する学生、大学院生を対象とします。起業家を目指す人、事業化意欲のある人、歓迎。
●応募プラン対象
産業・生活分野での新製品や技術、独創的なニュービジネス、新サービス等々。
◆応募プランは次の2部門から選んでください。
(1)テクノロジー部門　(2)ビジネス部門
◆応募方法
ウェブサイトの応募フォームからエントリーしてください。
http://www.cvg-nikkan.jp
問い合わせ先
日刊工業新聞社 大阪支社内 CVG中国事務局
〒540-0031 大阪市中央区北浜東2-16
TEL:06-6946-3321 FAX:06-6946-3329
E-mail:cvg-chugoku@media.nikkan.co.jp

極小曲げ　L型　異径
塑性加工パイプ 絶賛!
150,000,000個以上の実績
軽量・安価
安全・安心
圧入部精度
外径 0.02～0.05
円筒度 0.01～0.03
3次元曲げ
セイエン 検索
http://seien21.com
人と技術で21世紀を…
有限会社 セイエン
737-1217 広島県呉市音戸町渡子1-5-5
T:(0823)51-2644 F:(0823)51-2671
E-mail:seien@seien21.com